

令和6年度 精神障害者支援センター相談事業報告書

1. 総括

きいてネットにおいて、とくに精神障害や発達障害についての専門的な知識や対応が求められる相談に応じるほか、他の相談支援事業所との連携や後方支援を意識して相談支援を行った。

- ① 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が支援に及ぼす影響はほとんど見られない。しかし、感染を恐れて社会との接点を極端に減らし、ひきこもりの生活を過ごしている複数の事例がある。精神科病院からの退院支援への影響は一時的な流行を除くと見られない。
- ② 今年度からいくつかの精神科病院において退院に向けたプログラムを再開し、病院地域連携と入院患者への相談支援事業所の周知を兼ねて参加している。
- ③ 精神科治療が必要と思われるが未治療や治療中断の状態やひきこもり状態の子どもの親からの相談が一定数ある。地域包括支援センターや宝塚保健所と連携して支援している。精神障害のある親の子どもの支援者からの事例が増えてきた。家庭児童相談室や障害児相談支援の相談支援専門員と連携している。高齢・児童との連携は日常的に行っているため、今後は市の保健部局との連携を増やす必要がある。
- ④ 若年層（10代、20代）の相談では、通信制の高校に在学しているが不登校、親が精神疾患の事例、市販薬依存の事例が一定数ある。最低限の生活を送るための支援ではなく、アイデンティティ、進路や居場所についての相談であること多く、従来の障害福祉サービス等ではニーズを解決しづらいケースが大半であり、相談に時間を要することが多い。
- ⑤ 精神疾患のある親のケアを担うヤングケアラー・若者ケアラーが存在している。子が親の医療保護入院の同意者になる事例が今年度もあった。子が就労している場合、昼間の連絡や相談がしづらく、世帯全体を支援することが難しい。
- ⑥ 地域移行関係者連絡会の事務局を担当し、2か月に1回開催した。精神保健福祉法改正を契機に精神科病院と相談支援事業所の連携を深めるワーキンググループを開催し、とりまとめ報告書を作成した。後半は、障害者入所施設を含めた地域移行の意向確認についての意見交換を行った。
- ⑦ 主任相談支援専門員として、三田市相談支援事業所連絡会でのスーパーバイズに協力している他、阪神北圏域の主任の連絡会に参加している。
- ⑧ 地域啓発ではワークショップ「対処のわかちあいの場」を9回実施した（予定）。「わかちあいの場」はメンタルヘルススキルの向上を目的として企画しているが、居場所としての側面が色濃い。「精神障害のある人の恋愛、結婚事情」の講演会を実施した（予定）
- ⑨ 居場所の活動（「ゆるり」、「はじまりの街」）を継続して行った。

2. 相談支援

(1) 相談者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規	5	8	7	6	2	3	3	3	2				39
実人数	34	44	41	38	28	35	30	34	23				307
障害者	33	43	41	38	28	32	29	32	22				298
障害児	1	1	0	0	0	3	1	2	1				9
身体	1	0	1	0	0	0	1	0	0				3
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
知的	5	7	5	6	4	7	3	4	3				44
精神	18	30	22	26	15	19	24	27	18				199
発達	6	6	7	4	7	7	2	3	0				42
高次脳	1	0	1	0	1	0	0	1	1				5
難病	1	0	3	1	1	1	0	0	0				7
その他	1	3	3	2	0	1	0	0	1				11
延べ件数	83	103	90	95	61	61	64	84	68				709

(2) 相談形態

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問	3	4	3	4	2	4	0	8	3				31
来所	8	19	13	10	10	14	9	10	6				99
同行	0	1	3	4	1	0	1	3	1				14
電話	34	31	33	27	18	19	31	32	21				246
メール	4	1	1	1	0	0	4	1	0				12
支援会議	2	0	0	1	0	2	0	0	0				5
関係機関	32	47	37	48	30	22	19	30	37				302
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
合計	83	103	90	95	61	61	64	84	68				709

(3) 相談内容

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
福祉S	26	31	34	35	30	30	26	36	31				279
障害理解	2	3	5	1	2	3	2	0	2				20
健康医療	39	45	37	30	14	18	29	37	38				287
不安解消	11	10	19	11	6	9	6	5	6				83
保育教育	2	0	0	0	1	2	3	4	3				15
家族関係	14	20	20	21	18	21	16	12	12				154
家計経済	14	22	19	7	9	7	9	7	6				100
生活技術	18	18	11	25	6	3	5	11	9				106
就労	10	10	7	6	2	11	5	7	7				65
社会参加	3	10	3	1	2	2	5	8	3				37
権利擁護	0	5	2	8	5	4	1	3	0				28
その他	1	5	2	2	2	1	0	1	0				14
合計	140	179	159	147	97	111	107	131	117				1,188

(4) 相談支援に関する連携会議への出席

- ・三田市相談支援事業所連絡会
- ・三田市権利擁護実務者会議
- ・阪神北圏域主任相談支援専門員定例会
- ・阪神北圏域相談支援専門員定例会
- ・阪神北圏域精神障害者地域移行・地域定着支援管内連絡会
- ・阪神北圏域自殺予防推進会議
- ・兵庫県精神障害者地域移行・地域定着支援事業推進連絡会議

3. 自立支援協議会

(1) 地域移行関係者連絡会

別紙参照のこと。

4. 普及啓発活動

(1) 普及啓発

1) 「わかちあいの場」

WRAP（元気回復行動プラン）を「いまいちの時、ピンチの時、いまの調子を保ちたいとき、みんなどうしているだろう？わかちあいの場」（対処のわかちあいの場）を実施した。精神的疾患とのつきあい方（サインや対処行動）についての相談が多いことから、アメリカの精神障害当事者が開発した WRAP（元気回復行動プラン）を参考にワークショップを行った。以前より心理療法などの研修を専門家による講義で行ってきたが、講義だけでは参加者が実践に結びづらくワークショップ形式での企画とした。ひきこもりがちな人の第一歩として活用される事例が多く、居場所としての役割が強くなっている。

・開催状況：5/23(木)、6/12(水)、8/22(木)、9/12(水)、10/18(金)、11/29(木)、1/27(月)、2/20(木)

2) 精神障害のある人の恋愛、結婚事情

・日時：3/22(土) 13:30～15:30 ※予定

・場所：総合福祉保健センター多目的ホール

・講師：蔭山正子さん（大阪大学）

・開催目的：精神障害のある人の恋愛や結婚について当事者と共にワークショップを行っている大阪大学・教授の蔭山正子さんの講演を通じて、精神障害者の恋愛、結婚、出産、子育ての実際から、当事者の希望と現実を学びます。そして、出会い、お付き合い、結婚生活、子育てなどそれぞれの段階での具体的なエピソードも交えながら、当事者のこれからの人生について考えるきっかけとします。

(2) 居場所などの活動

1) ゆるり

※基幹相談支援センター報告書参照

2) はじまりの街

8050 問題に象徴されるように中高年のひきこもりの課題を背景に、中高年でも話しやすいアニメやゲームを題材に居場所スペースを開催している。ウッディ・カルチャー地区ふれあい活動推進協議会に会場の協力をえて、地域住人の下村氏、三田市社会福祉協議会・ウッディ・カルチャー地区地域福祉支援員、精神障害者支援センターの相談員が運営に協力。2ヶ月に1回程度、夕方に2時間程度の開催。アニメやゲームについての雑談が中心となっている。今年度は『はじまりの街』から自然発生的に参加者が博物館や外食に出かける企画があった。

昨年度から18歳未満の企画を親の会と協力して『はじまりの街 U-18』を実施している。

・『はじまりの街』開催状況：4/5(金)、6/7(金)、8/2(金)、10/4(金)、12/6(金)、2/2(金)

・『はじまりの街』(U-18) 開催日程：5/11(土)、7/13(土)、9/14(土)、11/9(土)、1/11(土)、3/8(土)

5. 社会活動・研修活動（研修・講習会など）

(1) 三田市における専門的な人材育成の取組

日時	内容	対象
9/11(水)	精神障害のある人の特性と支援 ヘルパー利用をしている当事者の発表	ヘルパー事業所連絡会
12/7(土)	障害のある人の暮らしを支える考え方	権利擁護サポーター養成講座

(2) 相談支援の質の向上のために参加した市内の研修 ※三田市相談支援専門員研修以外
・2/22 精神障害のある人と家族のそれぞれの人生、にじの会主催

(3) 相談支援の質の向上のために参加した市外の研修

- ・4/13～14 統合失調症学会（徳島県徳島市）
- ・6/15 認定 NPO 大阪精神医療人権センター総会記念講演会（大阪市）
- ・6/16 兵庫県相談支援ネットワーク総会記念講演会（神戸市）
- ・7/25 日本精神科医学会学術大会（宮城県仙台市）
- ・9/6-8 チイクラフォーラム（埼玉県さいたま市）
- ・9/27-28 精神保健福祉士全国大会（姫路市）
- ・11/9 認定 NPO 大阪精神医療人権センター設立記念講演会（大阪市）
- ・11/24 近畿ピアスタッフの集い 意図的なピアサポートワークショップ（大阪市）
- ・11/30 ひょうかれん阪神地区精神保健福祉研修会（芦屋市）
- ・12/14-15 日本精神障害者リハビリテーション学会お台場大会（東京都江東区）
- ・2/8-9 アメニティフォーラム26（滋賀県大津市）

(2) 主な社会活動

○県内

- ・10/16 宝塚市社会福祉協議会「ピアサポート啓発講座」講師
- ・11/16 宝塚市社会福祉協議会「登録ピアサポーター養成研修」講師
- ・12/1 日本病院・地域精神医学会総会兵庫大会 一般演題3 座長
- ・2/10 丹波篠山市自立支援協議会精神保健福祉部会研修 講師
- ・兵庫県障害者ピアサポート研修企画委員会 委員

○厚生労働省等

- ・令和6年度、厚生労働省「障害者ピアサポート研修指導者養成研修」検討委員 講師
- ・令和6年～、厚生労働科学研究「障害者ピアサポート研修の実施内容の検証及び更なる効果的な実施方法の確立に向けた研究」（代表研究者：岩崎香）研究協力者

(3) 職能団体や学会

- ・兵庫県相談支援ネットワーク、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本精神保健福祉士会、日本社会福祉士会、日本ピアスタッフ協会、全国地域で暮らそうネットワーク